

## 江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成29年度第2回 第5分科会（経営、企画分野）
日時	平成29年10月25日（水） 午後2時～午後3時15分
場所	江南市役所 3階 第3委員会室
出席者	市民委員 小沢 捨雄、福田 直樹、松岡 博年、佐橋 康弘、古田 嘉且
	市職員 坪内 俊宣、松本 朋彦、安達 則行（代理）、本多 弘樹、村田 いつみ、 古田 義幸、中村 信子、伊藤 幸実、石黒 稔通
傍聴者	なし
議題	1. まちづくり評価の結果について 2. その他
資料	資料3 まちづくり評価【V 経営、企画分野】 資料4 平成29年度江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査（江南市市民満足度調査）報告書 （※第1回の会議資料と同じ）

### ◆ 会議結果 ◆

#### 1. まちづくり評価の結果について

##### 〔柱5〕効率的かつ円滑な事務管理の推進

- ・資料3に基づき、委員（総務課長、会計課長、監査委員事務局長）より説明がありました。

##### 〔個別目標①〕 効率的かつ円滑に業務が実施され、わかりやすい情報の提供により開かれた市政が行われている

- ・施設予約システムの導入状況について質問があり、県内29自治体が施設予約システムを導入しており、当市では市民体育会館施設、江南緑地・蘇南公園施設等の空き状況照会や予約ができるとの説明がありました。
- ・施設予約システムの予約時間単位が2時間単位であるが、利便性を考慮して1時間単位に変更してはどうかとの意見がありました。  
一方、午前／午後のような幅広い時間区分ならば利便性を考慮して見直しをする余地はあるが、時間当たりの利用料も安価であることから、現行の2時間単位の予約区分は極めて有効な運用形態であり見直す必要はないとの意見もありました。
- ・施設予約システムの導入等、申請手続のデジタル化が急速に進んでいるが、デジタル機器の使用が不得手な人がいることも考慮し、従来の申請方法を存続させるなど、偏りが生じないように進めていただきたいとの意見がありました。

##### 〔個別目標②〕 資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている

- ・歳計現金の運用実績が下がった理由について質問があり、これまで国庫短期証券及び定期預金で運用してきたが、日本銀行のゼロ金利政策の影響により国庫短期証券での運用は不利になることから、定期預金に限定して運用することとなったため運用実績が下がったとの説明がありました。

- ・庁用物品払出管理事業の内容について質問があり、庁内で使用する事務用品および机等の備品を一括購入し各課に払い出す事業で、一括購入によるコスト縮減メリットがあるとの説明がありました。
- ・庁用物品払出管理事業では、減価償却後の備品や公用車の公売もするのかとの質問があり、事務用備品は経年に伴う破損等で使用できなくなった都度廃棄しており、公用車の公売は当該事業ではなく総務課の事業において実施しているとの説明がありました。
- ・布袋駅周辺整備事務所など今後使用しなくなる物件について、解体する場合は費用が発生するため、売却するなどコストが削減できるような手法で進めていただきたいとの意見がありました。

#### 〔柱6〕 より開かれた適切な議会運営への支援

- ・資料3に基づき、委員（議事課長）より説明がありました。

#### 〔個別目標①〕 より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている

- ・尾張地方の市議会ですべてタブレット端末を導入し、議案書等を端末で閲覧でき、議場の大きな画面で傍聴者向けに資料が表示できるようになったとの新聞記事があり、より市民にわかりやすい開かれた議会を目指していることが良くわかったとの意見がありました。
- ・市民向けのICT講習会で議員がタブレット端末の使用方法を習得されている光景を目にし、市民と議会が一体になっていると感じ非常にうれしく思ったとの意見がありました。
- ・市民と議会との意見交換会が開催され、市民の声を聴き、議会が運営されていることが良くわかったとの意見がありました。
- ・議員が発行する市政の内容を掲載したチラシ等が各家庭に投函される頻度が増え、市民に対して議会活動が公開されていると実感できたという意見がありました。

## 2. その他

- ・12月22日に開催予定の全体会議について事務局より説明がありました。